

11月例会 雪彦山(915.1m)・大天井岳(811m)

実施日 2019年(令和元年)11月6日(水)

天候 快晴

参加者 CL近藤嗣 SL黒瀬 SL小林宮

小林陽 神山 佐藤綾 森田 小林東 藤川豊 川島 水畑 永谷 岡野 墨江 小田 佐々木
飯国 梶原 木下 真野 前田 佐古 秋山 森本 男11名、女13名、計24名

バス(21名乗車)、自家用車 現地集合(3名)

行程 岡山駅西口(6:35) ⇒ 姫路西IC ⇒ 登山口(9:10)登山開始(9:20) → 不動岩(9:35) → 大天井岳山頂(811m)・昼食(11:45~12:20) → 新下山道分岐(12:45) A班19名とB班4名に分かれる

[A班] → 雪彦山(三角点)(13:20) → 新下山道分岐(13:40) → 虹ヶ滝(14:20) → 出会(14:55)

登山口前でB班と合流 → 登山口(15:35) 閉会式・解散(15:45)

バスにて往路を戻る ⇒ 岡山駅西口(18:35)

[C班1名(黒瀬)] 不測事態の救護班として登山口、虹ヶ滝間を往復

概要 夢前町 山の内駐車場にて自家用車組と集合し、開会行事を行って、登山組23名は不測事態の救護班(黒瀬)と分れ登山開始。往路はいきなりの急登道。この急登が連続、加えて険しい岩やクサリやロープが連続。三点確保して大天井岳まではOneグループで登頂。



アルプス岩山登山の気分を味わった。足場がわかりやすく、岩は固いので、緊張感はあったが自然が織りなす特徴ある岩場を登り切った達成感は格別!!

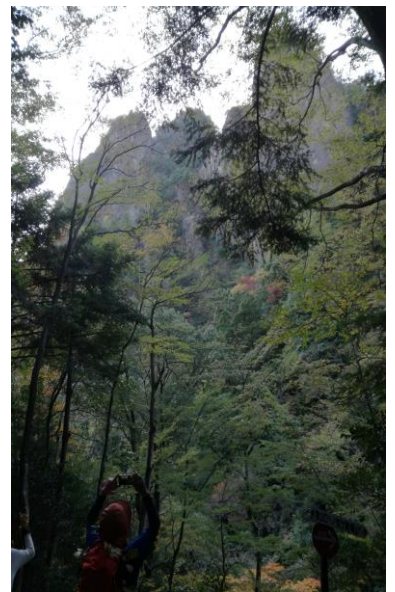
大天井岳で食事しながら展望を楽しみ、昼食後A班19名はザックを置き、雪彦山三角点(915.1m)ピストンの後、B班を追いかける。

B班4名は休憩後に先行して虹ヶ滝を経て登山口へ下山。下りは急坂もあるも、沢に沿って歩く砂利道を小幅度で歩き、登山口前でA班はB班に合流。

単純標高差約600m、歩行時間約6時間(昼食35分含む)を無事踏破。岩場を心配したが快晴続きで乾燥し、登り易かった。小田・佐古両氏他のサポートで、黒瀬氏の出番なしで終了。緊張感あったが、達成感と満足感と疲労感が、個々人交錯された山行きとなった。

(下見ではヒルに食われたが、本番はなし)

(近藤嗣 記)



大天井岳山頂



雪彦山三角点